

高知県工業技術センターだより

▶ 新しい試験機器を導入しました 資源環境課

資源環境課では、下記のような評価試験機器を導入しています。



衝撃試験機

(株)東洋精機製作所 (型式: IT 型)

樹脂の耐衝撃性を評価するための装置です。棒状の試験片に対し、重さや形状の決まった振り子（ハンマー）をぶつけ、ぶつけた前後でのハンマーの振れ角を測定します。この結果から試料が吸収した衝撃エネルギー量を求め、耐衝撃性の指標とします。

スペック 対応規格: JIS K7110 (アイゾット)
JIS K7111 (シャルピー)

ハンマー容量 アイゾット: 2.75J、5.5J
シャルピー: 2J、4J



熔融樹脂流動性測定装置

(株)安田精機製作所 (型式: No.120-

熱可塑性プラスチックの流動性や熔融粘度を示す指標（MFR: メルトフローレート）を測定する装置です。MI (Melt Index) と同じ意味で使われています。

測定方法は JIS で規定されており、シリンダー内に充填した樹脂に一定の温度と圧力をかけ、容器底の開口部から押し出された樹脂量を計測し、MFR (g/10min) を算出します。

スペック 測定温度 400℃ (最大)
荷重 2.16kgf、5kgf

これらの他にも、保有する加工機器・分析機器を工業技術センターホームページに掲載しています。関心のある機器がありましたら、どうぞお気軽に資源環境課へお問い合わせください。

資源環境課の試験設備機器紹介ページ URL

https://www.pref.kochi.lg.jp/itc/item_list/item_section3/

▶技術者養成講座（生産技術課）のご案内

今年度開催する技術者養成講座の一部をご紹介します。

ぜひ企業の皆さまには関連する研修を体系的に受講していただき、生産現場の技術課題の解決や改善の動きにつなげていただきたいと考えています。なお、研修費用は無料です。

研修への参加申込みは、当センターホームページ（下記 URL 参照）や個別に配信されるメールニュース（登録制）をご覧ください。日程調整中の研修につきましても、1ヶ月前を目安に日程を確定していますので、随時 HP 等でも更新をしていきます。

○材料工学

鉄鋼材料の熱処理について基礎から学ぶ研修や、鋼材の品質管理には欠かせない強度試験・組織検査等について学びます。

※各回とも時間は、13:30～16:30

・材料工学論-熱処理の基礎

令和4年10月19日、26日（全2回）

・材料試験-（①材料試験、②金属組織、③成分分析）

①令和4年11月16日、30日（全2回）

②令和4年12月7日、14日（全2回）

③令和5年1月11日

・金属材料非破壊検査

令和5年1月下旬

○精密測定 日程調整中

ものづくりに欠かせない寸法測定や形状測定について基礎知識及び測定方法を学びます。

・精密測定-CNC 三次元測定装置

令和4年11月頃

・精密測定-非接触三次元形状測定装置

令和4年11月頃

○AI 技術 日程調整中

人手不足の解消や生産性向上への期待から AI 技術への関心が高まっています。本研修では、AI 技術の基本概念や技術概要と AI の機械学習等に取り組む際の環境構築に便利な Docker の特徴や基礎技術について実習形式で学びます。

・ Docker 入門研修

令和5年1月～2月頃

・ AI 技術研修

令和5年1月～2月頃

○IoT 技術

近年、盛んに行われている DX の推進には、IoT 技術が重要なファクターとなっています。今回の研修では、IoT 化に必要なサーバの構築やセンサ、マイコンといった部品を使用した開発体験を通じて、社内への IoT 技術の導入方法を学びます。

・サーバ編

令和4年11月2日

・デバイス編

令和4年11月9日

お気軽にお問い合わせください。

088-846-1111

受付時間 平日 8:30 ～ 17:15



高知県工業技術センター
Kochi Prefectural Industrial Technology Center